

R5年度 事務事業評価シート

142 課・局・室・所(係) 建築住宅課 建築係 事務事業番号 216010103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	1	住宅整備の支援		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	建築行政推進事業	3	石綿に関する講習受講事業				行政内部管理
	石綿障害予防規則等の改正により、解体工事(床面積の合計80㎡以上)、建築物・特定工作物の改修工事(請負金額100万円以上)等の工事は、令和4年4月から事前調査結果等を労働基準監督署に届出が必要になり、令和5年10月から事前調査ができるものを厚生労働大臣が「一般建築物石綿含有建材調査者」等として定めた。「石綿作業主任者技能講習」については、事前調査だけでなく比較的飛散が少ないレベル3の石綿作業計画等についても改正されており、発注者としての知識取得が必須となっている。また、「一般建築物石綿含有建材調査者」の受講資格のひとつでもある。				対象	監督職員に任じる職員		
					手段	講習・試験の受講		
					意図	石綿建材撤去作業の知識習得と石綿事前調査資格の取得		

事業期間	R4 年度	～	R6 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳			(一般)		(一般)		研修負担金	51千円
			普通旅費	100千円	研修負担金	119千円	消耗品費	7千円
			消耗品費	14千円	消耗品費	14千円		
			研修負担金	115千円				
			(石綿)	24千円				
			消耗品費	4千円				
			研修負担金	24千円				
合計				281千円		133千円		58千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源				281千円		133千円	
合計				281千円		133千円		58千円
人工数 人件費			0.05人	287千円	-			
総経費				568千円		133千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	一般建築物石綿含有建材調査者人数	活動		3人	3人	
				3人	3人	
				100.00%	100.00%	
2	石綿作業主任者技能講習人数	活動		2人	1人	
				2人	0人	
				100.00%	0.00%	
3						

成果	石綿建材撤去作業の知識習得及び石綿事前調査資格を取得した。				
R7年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	令和6年度から、事務事業「建築士技術者技能取得事業」に変更				

R5年度 事務事業評価シート

143 課・局・室・所(係) 建築住宅課 建築係 事務事業番号 216010201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保		1	住宅整備の支援		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	住宅リフォーム助成事業	1	住宅リフォーム資金助成制度					政策的
	リフォームを行う民間住宅の所有者に対し、山陽小野田市住宅リフォーム資金助成金交付要綱に基づき助成金を支給する。助成金の額は工事費の10%、限度額7万円で、市内業者の施工によるものに限る。					対象	自らが居住する家屋のリフォーム工事を行う家屋の所有者		
						手段	市広報紙等で広く募集し、工事完了後、助成金を支給する。		
					意図	地域経済の活性化と住環境の向上			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)				
支出内訳	住宅リフォーム助成金	9,880千円		住宅リフォーム助成金	9,830千円	住宅リフォーム助成金	9,950千円	住宅リフォーム助成金	10,000千円	
	合計	9,880千円		9,830千円		9,950千円		10,000千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
一般財源	9,880千円		9,830千円		9,950千円		10,000千円			
合計	9,880千円		9,830千円		9,950千円		10,000千円			
人工数 人件費	0.54人	2,100千円	0.45人	1,597千円	0.55人	2,261千円				
総経費	11,980千円		11,427千円		12,211千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1 助成金額	活動	10,000,000円	10,000,000円	10,000,000円	10,000,000円
		9,880,000円	9,830,000円	9,950,000円	
		98.80%	98.30%	99.50%	
2 助成件数	活動	—	—	—	
		175件	170件	180件	
		—	—	—	
3					

成果	住宅改修の支援につながっている。				
R7年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

144 課・局・室・所(係) 建築住宅課 建築係 事務事業番号 216010301

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保		1	住宅整備の支援		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
3	住宅・建築物耐震化促進事業	1	住宅・建築物耐震化促進事業						政策的
事業概要	住宅の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強いまちづくりを推進する。昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅の耐震診断及び耐震改修を実施する者に対して補助金を交付する。					対象	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅		
						手段	耐震診断員の無料派遣及び耐震改修を実施する者に対する補助金の交付		
						意図	民間建築物の耐震性の確保		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
	耐震診断員派遣業務委託料	444千円	耐震診断員派遣業務委託料	518千円	耐震診断員派遣業務委託料	592千円	耐震診断員派遣業務委託料	1,480千円		
	耐震診断・改修事業補助金	千円	耐震診断・改修事業補助金	1,000千円	耐震診断・改修事業補助金	1,000千円	耐震診断・改修事業補助金	1,000千円		
	合計	444千円		1,518千円		1,592千円		2,480千円		
	国庫支出金	1/2	222千円	1/2	759千円	1/2	796千円	1/2	1,240千円	
県支出金	1/4	111千円	1/4	379千円	1/4	398千円	1/4	620千円		
地方債										
その他										
一般財源	1/4	111千円	1/4	380千円	1/4	398千円	1/4	620千円		
合計		444千円		1,518千円		1,592千円		2,480千円		
人工数	人件費	0.13人	752千円	0.12人	688千円	0.18人	1,049千円			
総経費		1,196千円		2,206千円		2,641千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	民間木造住宅耐震診断件数	活動	20件	20件	20件	20件
			6件	7件	8件	
			30.00%	35.00%	40.00%	
2	民間木造住宅改修件数	活動	1件	1件	1件	1件
			0件	1件	1件	
			0.00%	100.00%	100.00%	
3						

成果	住宅改修の支援につながっている。				
R7年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

145 課・局・室・所(係) 建築住宅課 住宅管理係 事務事業番号 216020113

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	市営住宅維持管理事業	13	市営住宅分電盤開閉器点検				政策的	
事業概要	平成25年度に分電盤開閉器の故障により、電気製品の破損事故が発生し、発生した棟の全戸の点検を実施したところ事故発生以外でも故障が見つかった。経年劣化などによる緊急度の高い住宅から、業者に委託し順次点検を実施する。漏電に伴う火災発生及び家電製品の破損事故発生の未然防止を図る。				対象	漏電ブレーカーが設置されている分電盤		
					手段	電気事業者が行わない住宅内の機器取付状況の点検業務		
					意図	市営住宅の住環境の保全と入居者等の安全確保		

事業期間	R2以前	年度 ~	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)			R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳	手数料	80千円	手数料	80千円	点検手数料	80千円	手数料	72千円	
	合計	80千円		80千円		80千円		72千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源	80千円		80千円		80千円		72千円	
合計	80千円		80千円		80千円		72千円		
人工数 人件費	0.05人	289千円	0.05人	287千円	0.05人	291千円			
総経費		369千円		367千円		371千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	点検戸数	活動	10戸	10戸	10戸	10戸
			12戸	12戸	12戸	
			120.00%	120.00%	120.00%	
2						
3						

成果	市営住宅の住環境の保全と入居者等の安全確保につながっている。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

146 課・局・室・所(係) 建築住宅課 住宅管理係 事務事業番号 216020118

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	市営住宅維持管理事業	18	市営住宅昇降機修繕工事				政策的	
事業概要	市営住宅の昇降機4基(古開作第二団地H-1棟とH-2棟、神帆団地D棟、萩原団地1棟)の経年劣化により、修繕が必要である。取替時期を迎えた部品の取替えや修繕を行い、昇降機の安全性を確保し適正な維持管理を図る。				対象	市営住宅の昇降機4基		
					手段	取替時期を迎えた部品の取替えや修繕		
					意図	昇降機の安全性を確保する。		

事業期間	R4 年度	～	R8 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳			修繕料	1,496千円	修繕料	3,607千円	修繕料	4,197千円
	合計			1,496千円		3,607千円		4,197千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源				1,496千円		3,607千円	4,197千円
合計				1,496千円		3,607千円	4,197千円	
人工数 人件費			0.05人	287千円	0.05人	291千円		
総経費				1,783千円		3,898千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	修繕工事の実施	活動		完了 100.00%	完了 100.00%	
2						
3						

成果	昇降機の安全性の確保につながっている。				
R7年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

147 課・局・室・所(係) 建築住宅課 住宅管理係 事務事業番号 216020119

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	市営住宅維持管理事業	19	市営住宅屋根防水工事				政策的
事業概要	萩原団地を調査したところ、116棟の屋根の防水シートが裂けており、改修が必要なことが判明したため改修を行うものである。				対象	萩原団地116棟の屋根		
					手段	防水シートを貼る。		
					意図	市営住宅の雨漏りを防止する。		

事業期間	R5 年度	～	R6 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					工事請負費	4,917千円	工事請負費	5,225千円
							アスベスト調査委託料	113千円
	合計					4,917千円		5,338千円
	財源内訳/割合						4,917千円	5,338千円
人工数 人件費	0.00人	千円	0.00人	千円	0.17人	990千円		
総経費						5,907千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	屋根防水工事の実施	活動		屋根防水工事(萩原116棟) 完了 100.00%	屋根防水工事(萩原117棟)
2					
3					

成果	市営住宅の雨漏り防止につながっている。				
R7年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

148 課・局・室・所(係) 建築住宅課 住宅管理係 事務事業番号 216020122

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	市営住宅維持管理事業	22	アスベスト調査事業				政策的	
事業概要	建築物の改修等の工事においては、令和3年4月からアスベスト事前調査が義務化されたことから、市営住宅の改修等の工事においてもアスベストの事前調査を行う必要がある。アスベストの有無により、工事の設計額が大幅に変わってくることから、事業の効率的かつ円滑な実施を図るためにもアスベストの調査が必要となる。				対象	改修等の工事を行う建築物		
					手段	調査事業の実施		
					意図	アスベスト事前調査の義務化への対応及び建築物の改修等の事業の効率的かつ円滑な実施		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					アスベスト調査委託料	386千円		
	合計					386千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						386千円	
合計						386千円		
人工数 人件費					-			
総経費						386千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	調査事業の実施	活動			調査完了 100.00%	
2						
3						

成果	アスベスト事前調査の義務化への対応及び建築物の改修等の事業の効率的かつ円滑な実施につながっている。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

149 課・局・室・所(係) 建築住宅課 住宅管理係 事務事業番号 216020123

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	市営住宅維持管理事業	23	石綿建材撤去工事				政策的
	アスベストが含まれていることが調査により判明した建築物について、所有者である市がアスベスト対策を行う必要があるため、建材の撤去工事を行う。市営住宅の安全性を確保し、適正な維持管理を図る。				対象	アスベストが含まれていることが調査により判明した建築物		
					手段	撤去工事の実施		
				意図	市営住宅の安全性を確保し、適正な維持管理を図る。			

事業期間	R5 年度	～	R5 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					工事請負費	3,784千円		
合計						3,784千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						3,784千円	
合計						3,784千円		
人工数 人件費					0.16人	932千円		
総経費						4,716千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	撤去工事の実施	活動			工事完了 100.00%	
2						
3						

成果	市営住宅の安全性の確保及び適正な維持管理につながっている。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	-
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

150 課・局・室・所(係) 建築住宅課 住宅管理係 事務事業番号 216020201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保		2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	市営住宅解体・建替え事業	1	市営住宅解体工事(単独)					政策的
	山陽小野田市市営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した市営住宅を計画的に解体していく。防犯上及び安全上危険な空家をなくし市営住宅団地内外の居住環境を改善するとともに、将来的に負担を先送りすることなく、計画的に市営住宅ストックを管理していく。						対象	市営住宅の老朽空家	
						手段	解体工事		
						意図	市営住宅の安全性確保、将来の負担の平準化		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)		
支出内訳				工事請負費	14,190千円	工事請負費	29,645千円	工事請負費	3,289千円	
				空き家具撤去等業務委託料	1,386千円	空き家具撤去等業務委託料	726千円	空き家具撤去等業務委託料	308千円	
				アスベスト調査委託料	574千円	アスベスト調査委託料	883千円	アスベスト調査委託料	228千円	
	合計				16,150千円		31,254千円		3,825千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債			100%	14,000千円	100%	29,500千円	100%	3,200千円	
	その他									
	一般財源				2,150千円		1,754千円		625千円	
合計				16,150千円		31,254千円		3,825千円		
人工数	人件費			0.64人	3,669千円	0.52人	3,029千円			
総経費				19,819千円		34,283千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	解体実施	活動		5棟	9棟	1棟
				5棟	9棟	
				100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	市営住宅の安全性確保及び将来の負担の平準化につながっている。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

151 課・局・室・所(係) 建築住宅課 住宅管理係 事務事業番号 216020304

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保		2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	市営住宅長寿命化事業	4	長寿命化計画に基づく市営住宅改善事業					政策的
	令和3年度策定の山陽小野田市市営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の安全性の確保、劣化の低減、耐久性及び居住性の向上等のため改善事業を計画的に実施し、適正な維持管理を行い長寿命化を図る。					対象	長寿命化計画において改善事業の対象である市営住宅		
						手段	改善事業の実施		
					意図	市営住宅の安全性の確保、劣化の低減、耐久性及び居住性の向上等のため改善事業を計画的に実施し、適正な維持管理を行い長寿命			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
	工事請負費	7,066千円	工事請負費	38,280千円	工事請負費	77,517千円	工事請負費	63,360千円		
			工事請負費(繰越明許)	26,114千円	設計委託料	12,781千円	設計委託料	10,018千円		
					地質調査委託料	6,325千円				
	合計	7,066千円		64,394千円		96,623千円		73,378千円		
財源内訳/割合	国庫支出金	1/2	3,508千円	1/2	32,197千円	1/2	42,583千円	1/2	20,104千円	
	県支出金									
	地方債	100%	3,500千円	100%	32,000千円	100%	53,700千円	100%	53,200千円	
	その他									
	一般財源		58千円		197千円		340千円		74千円	
合計		7,066千円		64,394千円		96,623千円		73,378千円		
人工数	人件費	0.55人	3,049千円	0.97人	5,561千円	1.48人	8,622千円			
総経費		10,115千円		69,955千円		105,245千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	改善事業の実施	活動	屋上防水工事等 完了(繰越明許あり)	屋上防水工事等 完了	屋上防水工事等 完了
			50.00%	150.00%	100.00%
2					
3					

成果	市営住宅の安全性の確保、劣化の低減、耐久性及び居住性の向上等のための改善事業により長寿命化につながっている。				
R7年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	※令和3年度～令和4年度の決算額及び活動指標は、事務事業「市営住宅屋上防水改修工事」及び「市営住宅外壁改修工事」の合計です。				

R5年度 事務事業評価シート

152 課・局・室・所(係) 建築住宅課 住宅管理係 事務事業番号 216020305

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	市営住宅長寿命化事業	5	長寿命化計画に基づく市営住宅建替え事業				政策的
	令和3年度策定の山陽小野田市市営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年数超過により安全性や設備水準が低い市営住宅の建替え事業を計画的に実施し、市営住宅の安全性及び住宅の質の確保等により、現状の社会情勢や住生活を取り巻く環境に合わせた対応を図る。				対象	長寿命化計画において建替え事業の対象である市営住宅		
					手段	建替え事業の実施		
				意図	市営住宅の安全性及び住宅の質の確保等により、現状の社会情勢や住生活を取り巻く環境に合わせた対応を図る。			

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					計画策定委託料	17,600千円	設計委託料	25,336千円
					測量調査委託料	19,290千円	工事請負費	23,760千円
					工事請負費	25,850千円	市営住宅入居者移転補償金	5,815千円
					市営住宅入居者移転補償金	241千円	修繕料	4,840千円
					通信運搬費	484千円	手数料	709千円
					手数料	241千円	アスベスト調査委託料	203千円
					会場借上料	20千円		
合計						63,726千円	60,663千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金				1/2	9,926千円	1/2	14,008千円
	県支出金							
	地方債						100%	5,100千円
	その他							
	一般財源					53,800千円		41,555千円
合計						63,726千円	60,663千円	
人工数 人件費					0.67人	3,903千円		
総経費						67,629千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	建替え事業の実施	活動			引越先改修工事等 完了 100.00%	引越先改修工事等
2						
3						

成果	市営住宅の安全性及び住宅の質の確保等につながっている。					
R7年度に向けた課題及び改善策	事業の実施に当たり、社会資本整備総合交付金を確保する必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

153 課・局・室・所(係) 建築住宅課 住宅管理係 事務事業番号 216020401

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保		2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
4	市営住宅入居者の移転促進事業	1	漁民アパート入居者移転促進					政策的	
事業概要	本団地は、昭和43年度と昭和45年度に建設されており、築50年を経過し、老朽化している。また、その土地が借地であることから、市営住宅としての用途を廃止し、土地を賃借人に返還するため、入居者に移転料等を支払い、入居者の円滑な移転を図る。					対象	入居者		
						手段	移転促進		
						意図	将来的な借地の返還		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
	市営住宅入居者移転補償金				市営住宅入居者移転補償金		市営住宅入居者移転補償金			市営住宅入居者移転補償金
市営住宅入居者移転先家賃補助金	47千円			市営住宅入居者移転先家賃補助金	4千円	市営住宅入居者移転先家賃補助金			市営住宅入居者移転先家賃補助金	221千円
合計	47千円			4千円						609千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	47千円			4千円					609千円
合計	47千円			4千円					609千円	
人工数 人件費	0.03人	174千円		0.03人	172千円	0.03人	175千円			
総経費		221千円			176千円		175千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	家賃補助世帯数	活動	1世帯	1世帯	1世帯
			1世帯	1世帯	0世帯
			100.00%	100.00%	0.00%
2	移転補償費支給世帯数	活動	1世帯	1世帯	1世帯
			0世帯	0世帯	0世帯
			0.00%	0.00%	0.00%
3					

成果	漁民アパートからの新規の退去者はなかった。				
R7年度に向けた課題及び改善策	入居者に高齢者が多く、退去が困難な状況である。				
目標達成度	D	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

154 課・局・室・所(係) 都市計画課 都市整備係 事務事業番号 217010106

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全		1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	都市公園維持管理事業	6	大規模公園環境美化事業					政策的	
事業概要	竜王山公園、若山公園、江汐公園、物見山公園のソメイヨシノは、近年、テング巣病に感染した桜が目立つようになってきている。よって、テング巣病感染部の枝を切除するとともに、テング巣病が重症化したソメイヨシノについては、伐採し、テング巣病に強い品種の桜(エドヒガン等)に更新する。					対象	大規模な都市公園		
						手段	テング巣病感染枝の切除と重症化したソメイヨシノは伐採し、テング巣病に強い品種の桜(エドヒガン等)に更新する。		
						意図	樹木の適切な管理を行う。		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
	(竜王山公園)		(竜王山公園)		(竜王山公園)		(竜王山公園)			
	テング巣処理等	2,860千円	テング巣処理等	1,617千円	テング巣処理等	1,518千円	テング巣処理等	3,200千円		
	樹木更新	1,463千円								
	合計	4,323千円		1,617千円		1,518千円		3,200千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金	ゆめ花開花 50%	1,278千円	ゆめ花開花 50%	809千円					
	地方債									
	その他	市町村振興	425千円	市町村振興	270千円	まちづくり	1,518千円	まちづくり	3,200千円	
	一般財源		2,620千円		538千円					
合計		4,323千円		1,617千円		1,518千円		3,200千円		
人工数	人件費	0.15人	868千円	0.10人	573千円	0.03人	175千円			
総経費		5,191千円		2,190千円		1,693千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	伐採樹木数	活動	3	3	3
			0	0	11
			0.00%	0.00%	366.67%
2	テング巣病処理数	活動	30	30	30
			20	28	17
			67.00%	93.00%	56.67%
3	更新樹木数	活動	30	0	20
			10	0	0
			33.00%	0.00%	0.00%

成果	テングス病の処理を継続的に行うことで、桜の名所としての魅力を維持し、市内外から多くの人々を引き寄せ、公園利用者の増加を促進した。				
R7年度に向けた課題及び改善策	テングス病の継続的な処理だけでなく、木々の過密化を解消するための間伐も実施する。これにより、病気や害虫の発生リスクを低減することを目指す。				
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	R5、R6:まちづくり魅力基金				

R5年度 事務事業評価シート

155 課・局・室・所(係) 都市計画課 都市整備係 事務事業番号 217010202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	都市公園施設整備事業	2	テニスコート改修事業			運動 交流	政策的
	都市公園内にあるテニスコート3箇所(江汐公園、浜河内緑地、須恵健康公園)について、不陸、ラインの破損が発生しているため計画的に改修を行う。 R5 補正予算(第5回) スポーツ振興くじ助成金の内示を受け財源内訳を補正。				対象	テニスコート		
					手段	テニスコートの改修を行う。		
					意図	テニスコート利用者のため、適切な維持管理を行う。		

事業期間	R2以前	年度 ~	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)			R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳			(須恵健康公園)			(浜河内緑地)			
			工事請負費	19,569千円		工事請負費	27,919千円		
			4面改修			4面改修			
	合計			19,569千円		27,919千円			
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債		75%	7,100千円	75%	12,900千円			
	その他		スポーツ振興くじ助成金	10,045千円	スポーツ振興くじ助成金	10,604千円			
	一般財源			2,424千円		4,415千円			
合計			19,569千円		27,919千円				
人工数 人件費			0.10人	573千円		0.35人	2,219千円		
総経費				20,142千円			30,138千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	改修コート数	活動		4	4	
				4	4	
				100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	浜河内緑地のテニスコート8面中、4面について改修工事を完了した。コートの不陸、ラインなど設備更新したことによって、利便性と快適性を向上することができた。				
R7年度に向けた課題及び改善策	日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金を活用しながら事業を行いたい。				
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	スポーツ振興くじ助成(地域スポーツ施設整備助成事業):スポーツ施設等整備事業:助成率(2/3)				

R5年度 事務事業評価シート

156 課・局・室・所(係) 都市計画課 管理緑地係 事務事業番号 217010203

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	都市公園施設整備事業	3	管理施設改修事業				政策的
	都市公園内にある管理施設について、長寿命化を図るための改修等を行う。				対象	都市公園内の管理施設		
					手段	施設の改修		
				意図	公園の利用促進を図る			

事業期間	R4 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)		
支出内訳			江汐公園トイレ改修		江汐公園外灯改修		工事請負費	9,346千円
			工事請負費	1,100千円	工事請負費	735千円	物品購入費	3,837千円
	合計			1,100千円		735千円		13,183千円
	国庫支出金							
県支出金								
地方債							炭素化推進事業債・緊防債	12,000千円
その他			江汐公園施設整備基金	1,100千円	江汐公園施設整備基金	735千円		
一般財源								1,183千円
合計				1,100千円		735千円		13,183千円
人工数 人件費			0.05人	287千円	0.05人	471千円		
総経費				1,387千円		1,206千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	改修対象施設数	活動	0	1	1	2
			0	1	1	
			0.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	江汐公園第1駐車場の外灯6箇所について、水銀灯からLED灯への灯具改修を実施した。				
R7年度に向けた課題及び改善策	年度別計画に基づき、江汐公園内の外灯についてLED化改修を行う。これにより照度の確保はもとより、維持管理コストの低減も図る。灯具の交換については、施設利用者への配慮を含めた計画を立案する必要がある。				
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	令和5年度 江汐公園施設整備基金を活用。				

R5年度 事務事業評価シート

157 課・局・室・所(係) 都市計画課 管理緑地係 事務事業番号 217010204

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	都市公園施設整備事業	4	遊戯施設改修事業			運動 交流	政策的
	都市公園内にある遊戯施設について、長寿命化を図るための改修及び要望等のある遊戯施設の新規設置等を行う。				対象	都市公園内の遊戯施設		
					手段	改修及び設置		
意図					利用者の安全性の確保と施設の充実による公園の利用促進を図る。			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)				
支出内訳							江汐公園冒険の森 遊具修繕 工事請負費	2,491千円		
	合計							2,491千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他						江汐公園施設整備基金	2,491千円		
	一般財源									
合計								2,491千円		
人工数	人件費						0.05人	471千円		
総経費								2,962千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	改修対象施設数	活動		1	
				1	
				100.00%	
2					
3					

成果	冒険の森遊具点検結果において修繕を要すると判断された遊具等について、改修を実施した。				
R7年度に向けた課題及び改善策	適切な改修を実施することにより、大規模修繕に係るコストの削減及び利用者の安全確保を図る必要がある。				
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	令和5年度は江汐公園施設整備基金を活用し修繕を実施。				

R5年度 事務事業評価シート

158 課・局・室・所(係) 都市計画課 都市整備係 事務事業番号 217010207

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	都市公園施設整備事業	7	竜王山公園オートキャンプ場施設等更新事業				政策的	
事業概要	竜王山公園オートキャンプ場の各施設について、老朽化が進んでいるため、更新を行う。 R5 9月補正 ガス給湯器購入(物品購入費)を補正:7,000千円 R6 3月補正 ガス給湯器購入、貯水槽残留塩素の減額補正:-3,118千円 高圧電線の更新費(債務負担)R5:0千円、R6:5,000千円				対象	竜王山公園オートキャンプ場利用者		
					手段	キャンプ場施設の更新		
					意図	宿泊人数の増加促進		

事業期間	R4 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳			(出入口ゲート)		(出入口ゲート)		(高圧電線更新)	
			機械器具借上料	209千円	機械器具借上料	1,254千円	工事請負費	5,000千円
			(トレーラーハウス撤去)		(貯水槽残留塩素)			
			工事請負費	1,227千円	備品購入費	8,627千円		
					(給湯器交換)			
				備品購入費	3,543千円			
					(高圧電線更新)			
合計				1,436千円		13,424千円		5,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債				一般	6,400千円		
	その他							
	一般財源				1,436千円	7,024千円		5,000千円
合計				1,436千円	13,424千円		5,000千円	
人工数 人件費			0.10人	573千円	0.30人	1,928千円		
総経費				2,009千円		15,352千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	オートキャンプ場全体利用者	成果	18811	19774	13255	
2	キャンプ利用者	成果	12006	15186	10639	
3						

成果	竜王山公園オートキャンプ場では、故障して不具合が生じていたガス給湯器と残留塩素装置について機器の更新を行った。これにより施設の機能が維持され、安全に利用できる環境が整備された。					
R7年度に向けた課題及び改善策	近年、機器の故障が多発しており、計画的な更新と迅速な修繕が必要となっている。老朽化した機器については、計画的な更新を進めるとともに、安全かつ効率的な施設運営を実現し、利用者の満足度向上を目指す。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

159 課・局・室・所(係) 都市計画課 都市整備係 事務事業番号 217010208

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	都市公園施設整備事業	8	スマイルエイジングパーク事業			運動 交流	政策的
	健康寿命の延伸を目指す、スマイルエイジング事業の一環として、市内4か所の都市公園等で、ウォーキングコースの園路改修や健康遊具の設置をすすめ、市民の運動習慣のきっかけづくりのための環境整備を行う。令和2年度は須恵健康公園において、健康遊具7基を設置した。令和3年度は江汐公園、厚狭川河畔寝太郎公園ゆめ広場の整備を実施した。令和4年度以降は、糸根公園と青年の家が立地する区域をスマイルエイジングパークとして一体的に整備する。				対象	須恵健康公園、江汐公園、糸根公園、厚狭川河畔寝太郎公園ゆめ広場		
					手段	健康遊具の設置及びウォーキング用園路の改修		
					意図	運動習慣のきっかけづくりと健康寿命の延伸		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)				R5(決算額)			R6(予算額)	
支出内訳	江汐公園			糸根公園					測量調査委託料	35,006千円
	(健康遊具設置)			計画策定委託料	9,482千円				普通旅費	56千円
	工事請負費	5,817千円		繰越明許						
	厚狭川河畔			厚狭川河畔						
	寝太郎公園ゆめ広場			寝太郎公園ゆめ広場						
	工事請負費	2,300千円		工事請負費	3,651千円					
	(健康遊具設置)			(健康遊具設置)						
合計		8,117千円			13,133千円					35,062千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金	ゆめ花開花 50%	3,466千円	ゆめ花開花 50%	2,846千円					
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	4,651千円	ふるさと支援基金	6,636千円				まちづくり魅力基金	35,000千円
	一般財源				3,651千円					62千円
合計		8,117千円			13,133千円					35,062千円
人工数 人件費	0.40人	2,313千円		0.55人	3,329千円					
総経費		10,430千円			16,462千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	健康遊具設置公園数	活動	2	1		
			1	1		
			50.0%	100.0%		
2	スマイルエイジングパーク整備基本計画の策定	活動		計画策定		
				計画策定		
				100.0%		
3	糸根公園整備事業 業務委託(測量・調査・設計) 工事	活動			事業手法の検討	用地測量
					事業手法の検討	
					100.0%	

成果	令和4年度に基本計画を策定し、令和5年度は事業手法の検討、財源に関する協議を実施した。事業手法は、検討の結果、通常の発注方式とすることとなった。財源に関しては、防衛省所管の民生安定施設整備補助金の活用を見込み、防衛局との協議を実施した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和6年度中に用地測量を実施し、令和7年度以降は調査、設計業務に着手する予定である。課題は、複数の業務委託を複数年かけて並走しながらの発注となるため、業務間の連携が重要である。また、地元(RMO)との意見交換等の内容、方法、時期などを精査し、円滑な事業進捗を図るように努める。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項	事業完了まで長期に渡る大型事業であるため、全市的な予算配分との調整が必要である。					

R5年度 事務事業評価シート

160 課・局・室・所(係) 下水道課 計画係 事務事業番号 218040101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
1	公共下水道整備事業	1	下水道管渠整備事業				政策的
事業概要	国土交通省から令和8年度までに汚水処理施設の整備について概成するよう求められている。これに伴い本市の汚水処理施設整備構想を見直し、全体計画区域の縮小を行うとともに令和8年度の公共下水道整備進捗率が95%を達成できるように努める。				対象	污水管渠	
					手段	污水管渠の整備	
					意図	公共下水道の污水管網の整備を推進し、普及率の向上を図る。	

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	下水道事業会計
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳	調査設計委託料(補助)	14,003千円		調査設計委託料(補助)	12,100千円	調査設計委託料(補助)	6,600千円	管渠整備工事(補助)	283,000千円	
	工事請負費(補助)	312,776千円		工事請負費(補助)	224,928千円	工事請負費(補助)	169,008千円	管渠整備工事(単独)	145,000千円	
	補償金、土地購入費(補助)	2,745千円		補償金(補助)	8,936千円	工事請負費(単独)	101,719千円	調査設計等委託料(補助)	10,000千円	
	調査設計委託料(単独)	13,933千円		補償金(単独)	1,858千円	補償金(補助)	23,852千円	調査設計等委託料(単独)	10,000千円	
	工事請負費(単独)	60,813千円		工事請負費(単独)	77,655千円	補償金(単独)	877千円	補償金(単独)	10,000千円	
	補償金(単独)	895千円		計画策定委託料(単独)	14,045千円	固定資産購入費(純単独)	1,053千円	補償金(補助)	10,000千円	
	調査委託(純単)	7,816千円		調査委託料(純単)	2,594千円			その他	2,807千円	
合計	412,981千円			342,116千円			303,109千円		470,807千円	
財源内訳/割合	国庫支出金	社会資本50%	164,762千円	社会資本50%	122,982千円	50%	99,730千円	50%	151,500千円	
	県支出金									
	地方債	下水道事業債100%	225,111千円	下水道事業債100%	197,717千円	特財を除き100%	184,288千円	特財を除き100%	298,500千円	
	その他	受益者負担金	15,836千円	受益者負担金	18,823千円	受益者負担金	18,038千円	受益者負担金	18,000千円	
	一般財源	繰入金	7,272千円	繰入金	2,594千円	繰入金	1,053千円	繰入金	2,807千円	
合計	412,981千円			342,116千円			303,109千円		470,807千円	
人工数	人件費	2.70人	15,657千円	2.77人	16,935千円	2.65人	16,518千円			
総経費	428,638千円			359,051千円			319,627千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	管渠整備延長	活動	3,000m	2,000m	1,200m	1,900m
			3,902m	4,165m	2,858m	
			130.07%	208.25%	238.16%	
2	公共下水道整備進捗率 (公共下水道処理区域人口÷公共下水道全体計画区域人口×100)	成果	60.6%	60.6%	91.9%	93.0%
			58.0%	59.1%	90.33%	
			91.70%	97.52%	98.29%	
3	汚水処理人口普及率 (公共下水道処理区域人口+農業集落排水区域人口+浄化槽利用人口)÷住民基本台帳人口×100)	成果	-	83.7%	84.7%	85.7%
			82.8%	84.42%	85.65%	
			-	100.84%	101.06%	

成果	大規模団地の接続に伴い管渠整備延長が目標を上回る結果となった。公共下水道整備進捗率については、人口減少の影響等により、伸び悩んでいる。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和8年度末までに公共下水道の概成を目指すため、投資効果の高い大規模団地の接続もほぼ完了したため、概成に向けて未整備地域の投資効果の高い地域を中心に整備していく。汚水処理人口普及率は目標を超えているので、このまま公共下水道の整備に加え、浄化槽の設置を推進していく。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	【R4→R5繰越明許 65,655千円】支出:工事請負費(補助)56,494千円、工事請負費(単独)3,335千円、補償金(補助)5,824千円、補償金(単独)2千円、収入:国庫支出金31,159千円、地方債34,496千円					

R5年度 事務事業評価シート

161 課・局・室・所(係) 下水道課 小野田水処理センター 事務事業番号 218040104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	公共下水道整備事業	4	処理場・ポンプ場長寿命化事業				政策的
	小野田水処理センターは、昭和56年供用開始、山陽水処理センターは、平成元年供用開始、下水道ポンプ場(小野田処理区)は平成8年供用開始、下水道ポンプ場(厚狹処理区)は平成6年供用開始、どの施設も経年劣化による機能低下が顕著になっている。これらの機能を回復させるため施設の長寿命化・改築・更新を行う。				対象	小野田水処理センター、山陽水処理センター、高千帆汚水中継ポンプ場、竜王汚水中継ポンプ場、厚狹汚水中継ポンプ場		
					手段	事業計画に基づき施設の長寿命化・改築・更新を行う。		
					意図	良好な汚水・汚泥処理を可能とし環境保全を推進すると共に、汚水中継ポンプ場の機能を維持し、汚水の停滞を防ぐ。		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	下水道事業会計
支出内訳	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
	工事請負費	91,600千円	工事請負費(補助)	391,541千円	汚水ポンプ場整備工事(補助)	91,512千円	処理場整備工事(補助)	240,000千円		
調査設計委託料	4,900千円	工事請負費(単独)	164千円	汚水ポンプ場整備工事(単独)	19千円	汚水ポンプ場整備工事(補助)	135,000千円			
【繰越明許】		工事請負費(純単)	80千円	処理場整備工事(補助)	389,960千円	調査設計等委託料(処理場・補助)	87,000千円			
工事請負費(補助)	298,106千円	計画策定委託料(補助)	24,165千円	処理場整備工事(単独)	375千円	調査設計等委託料(ポンプ場・補助)	39,000千円			
工事請負費(単独)	49千円	調査設計等委託料(補助)	11,765千円	調査設計委託料(補助)	32,120千円	調査設計等委託料(処理・補助)	20,000千円			
工事請負費(純単)	70千円			固定資産購入費(純単独)	628千円					
調査設計委託料	8,030千円									
合計	402,755千円		427,715千円		514,614千円		521,000千円			
財源内訳/割合	国庫支出金	社会資本50%、55%	209,495千円	社会資本50%、55%	229,940千円	50%、55%	276,294千円	50%、55%	272,500千円	
	県支出金									
	地方債	下水道事業債100%	193,189千円	下水道事業債100%	197,695千円	特財を除き100%	237,692千円	特財を除き100%	205,000千円	
	その他									
	一般財源	繰入金	71千円	繰入金	80千円	繰入金	628千円	繰入金	43,500千円	
合計	402,755千円		427,715千円		514,614千円		521,000千円			
人工数	1.90人	8,588千円	1.56人	7,750千円	1.35人	8,002千円				
総経費	411,343千円		435,465千円		522,616千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	山陽小野田市ストックマネジメント計画	活動	詳細設計	詳細設計	詳細設計	詳細設計
			0件	1件	1件	
2	長寿命化・改築・更新及び未整備施設整備工事	活動	0.00%	1件	1件	
			3件	7件	4件	4件
			4件	8件	5件	
3	耐水化対策	活動	133.33%	114.29%	125.00%	
			0件	0件	0件	
			0件	0件	0件	
			-	-	-	

成果	ストックマネジメント計画に沿って改築更新を行った。				
R7年度に向けた課題及び改善策	物価高騰、人件費高騰により、ストックマネジメント計画通りに改築更新を行う事が今後困難と予想される。				
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	【R4→R5繰越明許 319,496千円】支出:ポンプ場整備工事(補助)36,282千円、ポンプ場整備工事(単独)19千円、処理場整備工事(補助)267,200千円、処理場整備工事(単独)375千円、委託料(補助)15,620千円、収入:国庫支出金172,911千円、地方債146,585千円				

R5年度 事務事業評価シート

162 課・局・室・所(係) 下水道課 管理係 事務事業番号 218040105

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	公共下水道整備事業	5	し尿受入施設整備事業				政策的	
事業概要	小野田浄化センターの老朽化のため令和3年度に整備方針の検討を行ったところ、し尿及び浄化槽汚泥を下水道へ投入し処理することが経済的に有利との結論となった。				対象	し尿処理施設の整備		
	し尿及び浄化槽汚泥の安定処理のため、社会資本整備総合交付金を活用し、し尿受入施設を整備する。事業実施にあたっては市に代わって事業実施が可能な下水道事業団へ委任する。				手段	社会資本総合整備事業による施設整備		
	令和5年度は基本設計及び測量、地質調査を行う。				意図	し尿及び浄化槽汚泥の安定処理		

事業期間	R4 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	下水道事業会計
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					委託料(基本設計ほか)	10,730千円	調査設計等委託料(補助)	54,000千円
合計						10,730千円		54,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金				50%	5,365千円	50%	27,000千円
	県支出金							
	地方債				特財を除き100%	1,300千円	特財を除き100%	27,000千円
	その他							
	一般財源				繰入金	4,065千円		
合計						10,730千円		54,000千円
人工数 人件費					0.75人	4,369千円		
総経費						15,099千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	し尿受入施設整備事業	活動		基本設計 基本設計(繰越) 50.00%	詳細設計
2					
3					

成果	基本設計業務のうち、測量及び地質調査は年度内に完了したが、基本設計が令和6年度に繰越となっている。				
R7年度に向けた課題及び改善策	令和7年度から建設工事に着手できるよう速やかに詳細設計を進める。				
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

163 課・局・室・所(係) 下水道課 管理係 事務事業番号 218040208

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	公共下水道維持管理事業	8	下水道管理デジタル化推進事業		デジタル化		行政内部管理
	下水道事業の効率的な運営のため、紙媒体で管理している既存の情報や金融機関との取引をデジタル化し、職員の事務負担の軽減やミスの防止を図る。				対象	下水道事業会計		
					手段	既存の事務のデジタル化		
					意図	下水道事業の効率的な運営		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	下水道事業会計
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					手数料(ADP)	10千円	賃借料(地下埋)	489千円
					手数料(ネットバンク)	6千円	手数料(総合振込)	28千円
					備用品費	109千円	手数料(ネットバンク)	18千円
					システム改修委託料(浄化槽)	2,332千円	手数料(口座振替)	1千円
	合計						2,457千円	536千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				使用料	2,457千円	使用料	536千円
	一般財源							
合計						2,457千円	536千円	
人工数 人件費					0.35人	2,039千円		
総経費						4,496千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	事務取扱上のミス	成果			0件 0件 100.00%	0件
2						
3						

成果	事務のデジタル化により、作業内容の簡略化ができ、職員の従事時間の減少及びミス防止につながった。					
R7年度に向けた課題及び改善策	DXが推進されていることから、デジタル化により効率化される事務があれば、積極的にデジタル化を推進する。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

164 課・局・室・所(係) 下水道課 維持係 事務事業番号 218040401

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
4	農業集落排水整備事業	1	農業集落排水施設機能強化事業				政策的
事業概要	福田地区及び仁保の上地区農業集落排水処理施設は、建設から20年以上経過し、設備が老朽化しているため、施設の長寿命化及び維持管理の低減を目的にストックマネジメントの手法を用いた農業集落排水施設の維持管理・更新を実施する。				対象	福田地区及び仁保の上地区農業集落排水施設	
					手段	ストックマネジメントの手法を用いた農業集落排水施設の改築・更新を実施する。	
					意図	老朽化している施設の長寿命化を図る。	

事業期間	R2以前	年度	～	R6	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	下水道事業会計
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)				
支出内訳	計画策定委託料	3,000千円		調査設計委託料	2,000千円	工事請負費(補助)	5,258千円	処理場整備工事(補助)	5,000千円	
				調査設計委託料(純単独)	100千円			処理場整備工事(純単)	500千円	
	合計	3,000千円			2,100千円		5,258千円		5,500千円	
	国庫支出金									
財源内訳/割合	県支出金	団体営農村整備事業補助金50%	1,500千円	団体営農村整備事業補助金50%	1,000千円	50%	2,629千円	50%	2,500千円	
	地方債			下水道事業債100%	1,000千円	特財を除き100%	2,629千円	特財を除き100%	2,500千円	
	その他	使用料	1,500千円							
	一般財源			繰入金	100千円	繰入金		繰入金	500千円	
合計		3,000千円			2,100千円		5,258千円		5,500千円	
人工数	人件費	0.20人	1,157千円	0.36人	2,064千円	0.45人	2,621千円			
総経費		4,157千円			4,164千円		7,879千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	福田、仁保の上地区農業集落排水処理施設機能強化	調査計画策定	詳細設計	工事	工事
		完了	完了	完了	
		100.00%	100.00%	100.00%	
2	仁保の上地区農業集落排水処理施設機能強化	調査計画策定	詳細設計	工事	
		完了	完了	完了	
		100.00%	100.00%	100.00%	
3					

成果	令和5年度は、当初予定していた予算で過不足なく実施することが出来た。					
R7年度に向けた課題及び改善策	特になし					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項	令和6年度に完成する福田地区の1地区のみとなり、農業集落排水処理施設機能強化事業は終了する。					

R5年度 事務事業評価シート

165 課・局・室・所(係) 下水道課 管理係 事務事業番号 218050101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	5	合併浄化槽の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	浄化槽整備推進事業	1	浄化槽整備推進事業				政策的
	公共下水道事業計画区域外及び農業集落排水整備区域外にある住宅に浄化槽を設置する人に対して補助金を交付する。 令和8年度までに汚水処理の概成を求められている中、令和2、3年度に汚水処理施設整備構想及び公共下水道全体計画の見直しを行い、公共下水道で整備する区域を縮小した。計画区域から除外された地域については今後、合併処理浄化槽の設置により汚水処理整備を進めていくこととなるため、従来の補助金に上乗せを行うことで汚水処理人口普及率の向上を図る。				対象	浄化槽設置者		
					手段	浄化槽設置者に対する補助金の交付		
					意図	浄化槽の維持管理による快適な生活環境の確保と水質の保全		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳	浄化槽設置整備事業補助金	19,492千円		浄化槽設置整備事業補助金	24,380千円		浄化槽設置整備事業補助金	69,682千円	浄化槽設置整備事業補助金	71,633千円
	合計	19,492千円		24,380千円		69,682千円		71,633千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金	1/3	1,067千円	1/3	8,531千円	1/3	20,029千円	1/3	20,030千円	
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		18,425千円		15,849千円		49,653千円		51,603千円	
合計	19,492千円		24,380千円		69,682千円		71,633千円			
人工数	人件費	0.50人	2,721千円	0.42人	2,760千円	0.50人	2,097千円			
総経費		22,213千円		27,140千円		71,779千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6	
1	浄化槽設置整備事業補助金の交付件数	活動	85基	60基	100基	100基
			50基	45基	92基	
			58.82%	75.00%	92.00%	
2	汚水処理人口普及率	成果	-	83.7%	84.7%	85.7%
			82.8%	84.4%	85.7%	
			-	100.84%	101.18%	
3						

成果	公共下水道全体計画の縮小に伴う上乗せ補助の実施により、昨年度から補助金の交付件数を大きく増加させ、汚水処理人口普及率の目標を達成している。また、転換工事への補助により、汲取りや単独浄化槽からの切替えも進み、水質保全に貢献している。				
R7年度に向けた課題及び改善策	引き続き事業を実施して、公共下水道の整備と合わせて、汚水処理人口普及率を向上させる。				
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

166 課・局・室・所(係) 土木課 道路整備係 事務事業番号 219010102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	道路新設改良事業	2	市道浜崎1号線他道路改良事業				政策的
	当路線は、国道190号と埴生市街地を結ぶ重要な路線であり、前場川の拡幅に併せて道路を拡幅し歩道を設置する。 延長L=170m 幅員W=10.0m 片側歩道 関連路線：市道浜崎1号線、市道前場川左岸線、市道栗坪下市線 【R5年3月補正 -23,112千円】					対象	市民	
					手段	県へ工事委託		
					意図	歩行者の安全と市民の利便性の向上		

事業期間	R2以前	年度	～	R8	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
	工事委託料(現)		工事委託料(現)		工事委託料(現)		工事委託料			
	工事委託料(繰) 44,872千円		工事委託料(繰) 12,842千円		工事委託料(繰) 13,503千円					
	12,842千円		13,503千円		14,958千円					
	R3からR4へ繰越		R4からR5へ繰越		R5からR6へ繰越					
	合計	44,872千円		12,842千円		13,503千円		22,100千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金	50%	22,436千円	50%	6,421千円	50%	6,751千円	50%	11,050千円	
	県支出金									
	地方債	90%	20,100千円	90%	5,700千円	90%	6,000千円	90%	9,900千円	
	その他									
	一般財源		2,336千円		721千円		752千円		1,150千円	
合計	44,872千円		12,842千円		13,503千円		22,100千円			
人工数 人件費	0.13人	752千円	0.07人	401千円	0.17人	990千円				
総経費	45,624千円		13,243千円		14,493千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	事業進捗率(事業費ベース)(%)	成果	91	92	94	96
			91	92	92	
			100.00%	100.00%	97.87%	
2						
3						

成果	周防高潮対策の一環として行われている事業であり、防災面で非常に重要な事業として進捗している。				
R7年度に向けた課題及び改善策	引続き山口県と連携し、事業を推進する必要がある。				
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	R4→R5繰越明許 13,503,000円 (工事委託料) R5→R6繰越明許 14,958,000円 (工事委託料)				

R5年度 事務事業評価シート

167 課・局・室・所(係) 土木課 道路整備係 事務事業番号 219010104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	道路新設改良事業	4	市道くし山線道路改良事業				政策的
	市道くし山線は、JR小野田駅の北側を東西に走り県道小野田山陽線と県道小野田美東線を結ぶ延長約870mの市道である。平成25年時点では、県道小野田山陽線の4車線化計画があったため、交差点改良に影響がない区間の整備は完了している。 この度、山口県が行っている県道小野田山陽線の4車線化事業による交差点改良に併せて、市道くし山線の未整備区間の拡幅および、歩道の設置を行うことで利用者の交通安全環境の向上を図る。				対象	市民		
					手段	用地買収、拡幅工事		
					意図	市民の安全と利便性向上		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					調査設計委託料	1,400千円	工事請負費	14,000千円
							補償費	4,000千円
							用地購入費	2,000千円
	合計					1,400千円		20,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金				1/2	700千円	1/2	10,000千円
	県支出金							
	地方債				90%	600千円	90%	9,000千円
	その他							
	一般財源					100千円		1,000千円
合計						1,400千円		20,000千円
人工数 人件費					0.27人	1,573千円		
総経費						2,973千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	事業進捗率(事業費ベース)	活動		7%	27%
				2%	
				28.57%	
2					
3					

成果	県道小野田山陽線の拡幅事業に併せて実施する事業である。 R5年度は設計業務委託を発注していたが、受注者が令和5年6月30日以降の梅雨前線豪雨により発生した県内の災害対応業務に従事しており、それらを最優先に取組むために当該業務に係る業務期間に繰越が生じている。					
R7年度に向けた課題及び改善策	引続き設計業務を進めるとともに、山口県と連携し事業に必要な調査業務等を実施していく必要がある。					
目標達成度	D	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項	R5→R6 繰越明許 4,596,100円(調査設計委託料)					

R5年度 事務事業評価シート

168 課・局・室・所(係) 土木課 道路整備係 事務事業番号 219010105

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	道路新設改良事業	5	市道舗装リフレッシュ事業				政策的	
事業概要	大型車の交通量が多い幹線市道は、舗装の傷みが激しく、轍やクラックが発生しているため、切削オーバーレイ等による舗装のリフレッシュを石油貯蔵施設立地対策交付金を活用して行う。あわせて幹線市道における道路照明のLED化を実施する。				対象	交通量の多い幹線道路		
					手段	舗装補修、道路照明灯具交換		
					意図	通行車両の安全性及び、快適性の向上		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					工事請負費	20,000千円		
					工事請負費(単独)	5,000千円		
					補正	-7,469千円		
	合計					17,531千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金				100%	15,090千円		
	地方債							
	その他							
	一般財源					2,441千円		
合計						17,531千円		
人工数 人件費	0.00人		0.00人		0.26人	1,515千円		
総経費						19,046千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	舗装リフレッシュ路線(路線数)	活動			2	
					2	
					100.00%	
2	道路照明整備路線(路線数)	活動				
3						

成果	市内の幹線道路や緊急輸送道路の舗装老朽化対策として効果を発揮している事業である。					
R7年度に向けた課題及び改善策	今後も交通量の多い幹線道路における舗装の老朽化対策として事業を実施していく必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

169 課・局・室・所(係) 土木課 管理係 事務事業番号 219010303

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
3	市道管理事業	3	道路台帳整備事業(臨時)				行政内部管理	
事業概要	道路法で作成が義務つけられている道路台帳について、毎年適切に更新する。 なお、事業費が確定したので3月議会において予算(△5,497千円)を補正する。				対象	市道		
					手段	新設・改良または廃止した市道の調書及び図面の更新		
					意図	法に基づく台帳整備		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)	
支出内訳	道路台帳整備委託料	4,731千円		道路台帳整備委託料	7,976千円		道路台帳整備委託料	3,906千円		道路台帳整備委託料	7,000千円
	合計	4,731千円		7,976千円			3,906千円			7,000千円	
財源内訳/割合	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源	4,731千円		7,976千円			3,906千円			7,000千円	
合計	4,731千円		7,976千円			3,906千円			7,000千円		
人工数 人件費	0.17人	983千円		0.21人	1,204千円		0.16人	932千円			
総経費		5,714千円			9,180千円			4,838千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	台帳修正(修正延長)(m)	活動	修正延長	修正長	修正長	
			2735	2764	1394	
2	市道(実延長)(m)	活動	実延長	実延長	実延長	
			322475	322463	322444	
3						

成果	道路法で義務付けられていることから適切に更新ができた。				
R7年度に向けた課題及び改善策	道路台帳は道路行政の基礎資料となるため最新の状態を維持していく。				
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

170 課・局・室・所(係) 土木課 道路整備係 事務事業番号 219010503

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	5	道路維持補修事業	3	道路橋りょう維持補修事業(工事費・臨時)				政策的
	道路の維持管理に必要な側溝等の道路構造物の新設や改良を行う。 経常的経費だけでは山積する住民の要望に応えられないため、臨時的経費において対応する。				対象	市道		
				手段	舗装改修、側溝改修、付属施設改修			
				意図	安全性、利便性の向上			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
	調査設計委託料	385千円	工事請負費	3,000千円	工事請負費	3,000千円	工事請負費	2,000千円		
	工事請負費	3,942千円			(9月補正分)					
					工事請負費	14,777千円				
合計	4,327千円		3,000千円		17,777千円		2,000千円			
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金					(9月補正分)				
	地方債					100%	14,700千円			
	その他									
一般財源	4,327千円		3,000千円		3,077千円				2,000千円	
合計	4,327千円		3,000千円		17,777千円		2,000千円			
人工数 人件費	0.36人	2,082千円	0.14人	803千円	0.06人	350千円				
総経費	6,409千円		3,803千円		18,127千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	維持補修箇所(箇所)	成果	2	1	2	工事箇所
			2	1	2	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	市道における道路構造物の維持管理を推進する上で、非常に効果を発揮している事業である。					
R7年度に向けた課題及び改善策	今後も引き続き老朽化した舗装や側溝改修を行い、市道の維持管理を推進するとともに、市民から寄せられた要望に迅速に対応できるようコストを拡充し、事業進捗を図る必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項	自治会より市道の安全性、利便性向上について度重なる要望を受けているが、現状の予算ではスピード感を持った対応が出来ず、長期的にお待ちいただく状態にある。					

R5年度 事務事業評価シート

171 課・局・室・所(係) 土木課 管理係 事務事業番号 219010602

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
6	小規模土木事業	2	小規模土木事業(臨時)				政策的	
事業概要	生活に密接する公共性の高い道路、水路等を整備する自治会に助成金を交付する。 なお、事業量の増加に伴い12月議会において予算(5,100千円)を補正する。 事業費限度額:200万円 補助率:70%				対象	市民(自治会)		
					手段	自治会の事業を審査し、補助金を交付		
					意図	市民の生活環境の向上を図る		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	小規模土木事業助成金	7,669千円		小規模土木事業助成金	4,186千円		小規模土木事業助成金	7,507千円		小規模土木事業助成金 22,000千円
	合計	7,669千円		4,186千円			7,507千円			22,000千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
一般財源	7,669千円		4,186千円			7,507千円			22,000千円	
合計	7,669千円		4,186千円			7,507千円			22,000千円	
人工数 人件費	0.44人	2,545千円		0.57人	2,935千円		0.32人	1,864千円		
総経費		10,214千円			7,121千円			9,371千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	実施件数(件)	活動	—	—	—	
			58	60	60	
2	待機件数(件)	活動	—	—	—	
			52	46	41	
3						

成果	60件の事業に対し補助金を交付し、住民の利便性の向上に寄与することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	待機件数が増加し、待機期間が延びないように必要な予算を確保していく。また、自治会規模に関係なく活用できるよう適宜、制度を見直していく。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

172 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
事業概要	1	地域交通推進事業	1	JR美祢線利用促進事業			政策的
	JR美祢線の利用促進を図るため、本市と美祢市、長門市ほか商工、観光関係団体、県、JR西日本で協同してJR美祢線利用促進協議会を設置し、企画列車の運行や旅行商品の創設、利用助成事業などを行う。 令和5年度は、JR西日本によるローカル線見直しの動きに対応し、その維持・存続を図るため、地域ニーズを的確に把握し、実効性の高い事業展開を推進する。特に、令和6年3月の全線開通100周年に向け、観光客や鉄道愛好者等をターゲットに新たな利用者の創出を図るほか、地域住民の生活利用を促すマイレール推進事業を重点的に実施する。				対象	JR美祢線利用促進協議会	
					手段	JR美祢線利用促進協議会負担金の交付	
					意図	JR美祢線の利用促進	

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
支出内訳	JR美祢線利用促進協議会負担金	1,300千円		JR美祢線利用促進協議会負担金	1,300千円		JR美祢線利用促進協議会負担金		JR美祢線利用促進協議会負担金	1,300千円
	合計	1,300千円		1,300千円		1,300千円		1,300千円		1,300千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他					まちづくり魅力基金	1,300千円		まちづくり魅力基金	1,300千円
	一般財源	1,300千円		1,300千円						
合計	1,300千円		1,300千円		1,300千円		1,300千円		1,300千円	
人工数 人件費	0.15人	868千円		0.16人	917千円		0.45人	2,621千円		
総経費		2,168千円			2,217千円			3,921千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6	
1	JR美祢線の協議会事業による利用者数(1日) (三市協議会の目標)	成果	61人	78人	-	未定
			58人	56人	-	
			95.1%	71.8%	-	
2	JR美祢線の1日あたりの乗降者数	成果	できるだけ多く	できるだけ多く	-	未定
			365人	367人	-	
			-	-	-	
3						

成果	美祢線が被災したため、協議会の事業の多くが実施できなかったが、美祢線(代行バス)の利用者への支援やイベント等を実施した。また、「復旧後の利用促進検討ワーキンググループ」を設置し、復旧後の利用促進策について検討を行った。					
R7年度に向けた課題及び改善策	今後、美祢線の復旧等について検討を行っていく中で、実証事業等を行う必要性が出てくれば、新たな費用負担が発生する可能性がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	②
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

173 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
事業概要	1	地域交通推進事業	2	JR小野田線利用促進事業				政策的
	JR小野田線の利用促進を図るため、本市の市民団体や学校関係者からなるJR小野田線利用促進協議会を設置し、利用者目線で利用促進に向けた協議を行うほか、利用補助制度や啓発活動等を実施する。 令和5年度は、JR西日本によるローカル線見直しの動きに対応し、その維持・存続を図るため、地域ニーズを的確に把握し、実効性の高い事業展開を推進する。特に、地域住民等によるJR駅舎の装飾や利用補助、近隣他市との連携など、マイルール意識の醸成に資する事業の実施を検討する。				対象	JR小野田線利用促進協議会		
					手段	JR小野田線利用促進協議会への補助金交付		
					意図	JR小野田線の利用促進		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)				
支出内訳	JR小野田線利用	113千円	JR小野田線利用	213千円	JR小野田線利用	106千円	JR小野田線利用	300千円		
	促進協議会補助金		促進協議会補助金		促進協議会補助金		促進協議会補助金			
	合計	113千円	合計	213千円	合計	106千円	合計	300千円		
	国庫支出金									
財源内訳/割合	県支出金									
	地方債									
	その他					まちづくり魅力基金	106千円	まちづくり魅力基金	300千円	
	一般財源	113千円		213千円						
合計	113千円		213千円		106千円		300千円			
人工数 人件費	0.08人	463千円	0.11人	631千円	0.11人	437千円				
総経費	#VALUE!		844千円		543千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	JR小野田線の一日常たりの乗降者数	成果	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く	未定
			402人	414人	410人	
			-	-	-	
2	JR小野田線利用促進協議会の開催	活動	1回	1回	1回	1回
			1回	1回	1回	
			100%	100%	100.00%	
3						

成果	前年に引き続き、定期券等の利用補助や駅舎のハロウィン装飾、宇部線と連携し、「エヴァンゲリオン」とタイアップしたスタンプラリー等のキャンペーン等を実施した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和5年4月に地域交通法が改正され、全国的にJRローカル線の再構築を図ることが急務となっている。そこで、沿線住民の生活利用が促進されるよう、マイルール意識の着実な醸成を図るとともに、沿線市や県、JR西日本、学識経験者とともに、小野田線の利用低迷に係る原因分析と一層の利用促進に資する対策の協議を行う。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

174 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	地域交通推進事業	3	駅舎バリアフリー化整備事業				政策的
	国のバリアフリー法により「1日の利用者数3000人以上」の鉄道駅が整備目標となり、JR西日本が該当するJR厚狭駅にエレベーター等を設置するバリアフリー化工事を行う(負担割合:国1/3、地方公共団体1/3、JR1/3)。 在来線柵外に整備する多機能トイレは、公衆トイレとして市が清掃委託により維持管理を行う。				対象	JR西日本		
					手段	エレベーター等バリアフリー施設の整備に対する補助金の支出 柵外トイレの維持管理に対する負担金の支出		
					意図	交通移動の円滑化		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)		
支出内訳	交通施設バリアフリー化	39,592千円		交通施設バリアフリー化	28,698千円	清掃委託料		1,188千円	交通施設バリアフリー化	54,868千円
	整備事業補助金			整備事業補助金		光熱水費負担金		353千円	整備補助金	
						下水道代負担金		242千円	清掃委託料	1,485千円
						交通施設バリアフリー化		16,666千円	光熱水費負担金	834千円
						整備事業補助金			下水道代負担金	258千円
						交通施設バリアフリー化		73,094千円	保険料	1千円
						整備事業補助金(繰越)				
合計		39,592千円			28,698千円			91,543千円		57,446千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金	点状ブロック等事業費の1/6	9,142千円							
	地方債									
	その他	新幹線厚狭駅整備基金	30,450千円							
	一般財源					28,698千円		91,543千円		57,446千円
合計		39,592千円			28,698千円			91,543千円		57,446千円
人工数 人件費	0.06人	347千円		0.05人	287千円		0.05人	291千円		
総経費		39,939千円			28,985千円			91,834千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	エレベーター設置等(新幹線厚狭駅)	活動	工事			
			工事			
			100.00%			
2	エレベーター設置等(在来線厚狭駅)	活動	実施設計、工事	工事	工事	工事
			実施設計、工事	工事	工事	
			100.00%	100.00%	100.00%	
3						

成果	7月に発生した大雨災害等の影響により、材料不足が生じ、事業の進捗に遅れが生じたものの、令和5年度には在来線エレベーター2基の設置が完了した。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

175 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020108

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
事業概要	1	地域交通推進事業	8	厚狭北部デマンド型交通運営事業			政策的
	厚狭北部地域の37自治会の住民を対象に、H27年1月からデマンド型交通(予約型乗合タクシー)を導入し、H31年1月からは運行エリアを拡大、令和元年10月からは運行ダイヤを増備し、地域の生活交通手段の確保に努めている。また、事業の実施にあたっては、定期的に利用者の意見を聴取するなど、引き続き、利用促進に努める。				対象	交通不便者	
					手段	自宅と目的地周辺をつなぐ輸送サービスを実施	
					意図	生活交通の維持 地域公共交通の利用促進	

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
支出内訳	デマンド型交通	6,697千円	デマンド型交通	6,864千円	デマンド型交通	7,333千円	デマンド型交通	7,333千円	デマンド型交通運行業務委託料	8,300千円
	運行業務委託料		運行業務委託料		運行業務委託料					
	合計	6,697千円	合計	6,864千円	合計	7,333千円	合計	7,333千円	合計	8,300千円
	国庫支出金									
財源内訳/割合	県支出金									
	地方債									
	その他	デマンド交通運行維持費補助金 1,616千円	デマンド交通運行維持費補助金 1,561千円	デマンド交通運行維持費補助金 1,681千円	デマンド交通運行維持費補助金 1,400千円					
	一般財源	5,081千円	5,303千円	5,652千円	6,900千円					
合計	6,697千円	6,864千円	7,333千円	8,300千円						
人工数 人件費	0.07人	405千円	0.06人	344千円	0.08人	262千円				
総経費	7,102千円	7,208千円	7,595千円							

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	デマンド型交通運行日数(年間)	活動	143日	144日	146日	143日
			142日	147日	142日	
			99.30%	102.08%	97.26%	
2	一日当たりの乗車人数	成果	30人	31人	20人	21人
			16人	17人	16人	
			53.33%	54.84%	80.00%	
3	一日当たりの稼働率	成果	60%	60%	60%	60%
			50%	53%	54%	
			83.33%	88.33%	90.00%	

成果	デマンド交通は高齢者等の日常生活における移動手段として活用されている。住民の認知度を高め、利用促進につなげるため、広報活動を重点的に実施した。また、自治会からの要望を踏まえ、新たに東下津地区を対象地区に加えた。				
R7年度に向けた課題及び改善策	今後も広報活動を行うとともに、事業者との意見交換等を実施し、サービスの維持及び向上を目指す。				
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

176 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020114

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
1	地域交通推進事業	14	JR小野田線活性化事業				政策的
事業概要	JR小野田線の活性化を図ることを目的とし、本市及び県、宇部市、西日本旅客鉄道株式会社、山口大学で「JR小野田線活性化委員会」を立ち上げ、行政及び事業者の観点で継続的なJR小野田線の活用に努める。既存のJR小野田線利用促進協議会における、利用者目線での小野田線の活用に加え、小野田線をより利用し易くする仕組みづくりや、小野田線の運行区間である宇部市との連携事業の実施などを通じた利用促進を図る。				対象	JR小野田線活性化委員会	
					手段	JR小野田線活性化委員会への負担金支出	
					意図	JR小野田線の利用促進	

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳	JR小野田線	195千円		JR小野田線	895千円		JR小野田線	353千円	JR小野田線	900千円
	活性化事業負担金			活性化事業負担金			活性化事業負担金		活性化事業負担金	
	合計	195千円		895千円			353千円		900千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他					まちづくり魅力基金	353千円		まちづくり魅力基金	900千円
	一般財源	195千円		895千円						
合計	195千円		895千円			353千円		900千円		
人工数 人件費	0.10人	578千円		0.10人	573千円		0.10人	583千円		
総経費		773千円			1,468千円			936千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	JR小野田線の一日常たりの乗者人数	成果	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く	未定
			402人	414人	410人	
			-	-	-	
2	JR小野田線活性化委員会事業への参加者数	成果	100人	1000人	1000人	1000人
			210人	2828人	集計中	
			210.00%	282.80%		
3						

成果	沿線の山陽小野田市、宇部市にとって必要不可欠な交通インフラとして、両市民が小野田線の重要性を改めて認識し、確実かつ持続的な利用につながるよう、美祿線・宇部線と連携した広域的なスタンプラリー、SNSの開設やSNSを活用したキャンペーンの実施など、話題化と実効性を追求した利用促進施策を展開した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和5年4月に地域交通法が改正され、全国的にJRローカル線の再構築を図ることが急務となっている。そこで、沿線住民の生活利用が促進されるよう、マイルール意識の着実な醸成を図るとともに、沿線市や県、JR西日本、学識経験者とともに、小野田線の利用低迷に係る原因分析と一層の利用促進に資する対策の協議を行う。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
	成果	拡充	コスト	拡大	①	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

177 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020119

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	地域交通推進事業	19	高泊地区デマンド型交通運営事業		デジタル化		政策的
	地域公共交通網形成計画(H27年度策定)やバス路線再編計画(H30年度策定)に基づき、コミュニティバス路線「高畑・高泊循環線」は、R3年度、高泊地区の運行形態を分離し、より有効な交通手段へ転換するべく検討を行い、R4.3月末、新たにデマンドタクシーの導入と、その運行計画案をとりまとめたところである。 R4.10月のバスのダイヤ改正に合わせ、「高畑・高泊循環線」のうち「高泊地区路線」を廃止するとともに、タクシー会社によるデマンドタクシーの実証運行を導入する。				対象	交通不便者		
				手段	高泊地区内に設定した停留所から、目的地をつなぐ運送サービスを実施。			
				意図	生活交通の維持、地域公共交通の利用促進			

事業期間	R4 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳			デマンド型交通	2,885千円	デマンド型交通	5,680千円	デマンド型交通	6,100千円
			運行業務委託料		運行業務委託料		運行業務委託料	
			停留所看板	234千円	印刷製本費		印刷製本費	100千円
			作成委託料					
			印刷製本費	135千円				
			消耗品費	6千円				
合計			3,260千円		5,680千円		6,200千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他						デマンド交通運行維持費補助金	500千円
	一般財源				3,260千円		5,680千円	5,700千円
合計			3,260千円		5,680千円		6,200千円	
人工数 人件費	0.00人		0.16人	917千円	0.16人	728千円		
総経費			4,177千円		6,408千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	デマンド型交通運行日数	活動		73日	146日	143日
				70日	142日	
				95.89%	97.26%	
2	一日当たり乗車人数	成果		16人	16人	16人
				4.8人	6.9人	
				30.00%	43.12%	
3	一日当たり稼働率	成果		60%	60%	60%
				23%	31%	
				38.33%	51.67%	

成果	令和4年10月から令和5年9月までの実証運行をへて、令和5年10月より本格運行している。マイカーを自由に利用できない方の交通利便性を確保した。地元での認知向上に伴い、徐々に利用者が増加しつつある。				
R7年度に向けた課題及び改善策	対象自治会等への広報活動を行うとともに、事業者との意見交換等を実施し、サービスの維持及び向上を目指す。				
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

178 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020120

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	地域交通推進事業	20	「バス・タクシー運転士体験会&就業説明フェア」開催事業					政策的
事業概要	県央連携都市圏域の7市町で、バス・タクシーの車両や現役運転士と接する機会を設け、公共交通事業への理解を促進し、就業へ結びつけることを目的として、「バス・タクシー運転士体験会&就業説明フェア」を開催する。 ※山口市、宇部市の2会場で実施				対象	バス・タクシー運転士体験会&就業説明フェア実行委員会(仮称) ※今後、関係7市町で調整		
					手段	バス・タクシー運転士体験会&就業説明フェア実行委員会(仮称)負担金の交付		
					意図	バス、タクシー運転士の就業促進		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					山口県央連携都市圏域	102千円	山口県央連携都市圏域	140千円
					地域交通PT事業負担金		地域交通PT事業負担金	
	合計					102千円		140千円
	財源内訳/割合						102千円	140千円
人工数 人件費					0.01人	58千円		
総経費						160千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	1会場あたりフェア参加者数	活動			50人 61人 122.00%	50人
2	参加事業者数(市内運行事業者)	活動			3社 4社 133.33%	3社
3						

成果	県央連携プロジェクトにより初めて開催したが、想定より参加者も多く、比較的若い世代の参加もあった。ただちに運転士不足が解消するとは考えられないが、事業を継続することで少しでも状況の改善につなげたい。					
R7年度に向けた課題及び改善策	参加者の確保のため、周知を十分に行う。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

179 課・局・室・所(係) 都市計画課 都市整備係 事務事業番号 219030201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	3	駐車場・駐輪場の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	駐輪場整備事業	1	駐輪場改修事業				政策的	
事業概要	JR厚狭駅周辺の駐輪スペース不足を解消するため、市有地を活用し、厚狭駅在来線側に駐輪場を整備する。				対象	市内自転車駐輪場		
					手段	駐輪場の整備		
					意図	駅の利便性向上		

事業期間	R5 年度	～	R5 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					工事請負費(厚狭駅在来線)	3,675千円		
	合計					3,675千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					3,675千円		
合計						3,675千円		
人工数	人				0.15人	874千円		
総経費						4,549千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	改修箇所	活動		1	
				1	
				100.00%	
2					
3					

成果	令和6年1月下旬から新設駐輪場の供用を開始し、厚狭駅在来線口での駐輪スペース不足を解消することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	-
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

180 課・局・室・所(係) 都市計画課 計画係 事務事業番号 220010401

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	20	適正な土地利用の推進	1	適正な土地利用の推進		
事業概要	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	4	都市計画図管理事業	1	都市計画図更新事業				政策的
都市計画の変更、宅地開発の進展、公共施設の建替・新設等、地形や建物の大幅な変化に対応させるため、都市計画基本図の更新を行い、総括図やGISへ反映できるようにする。固定資産税や空き家、防災などの業務にも利用する。 R5年度については、R3年度から引き続き、日本初となる衛星リモートセンシングデータを利用した都市計画基本図の更新作業を行う。基本図の更新作業については、R3年度(R4年度に繰越)は、公開型GISの構築に合わせて「地図情報システム構築事業」(予算額33,000千円、決算見込み13,750千円)として実施しているが、継続する作業は当該事務事業で実施する。					対象	都市計画図、都市計画総括図、GISの基図		
					手段	各図の更新を行い、GISシステムへ反映させる		
					意図	最新の都市計画図を示し、正確且つ迅速な事務処理を図る		

事業期間	R4 年度	～	R5 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					都市計画基本図データ作成委託料	19,250千円		
					繰越明許			
					都市計画関係図書作成委託料	5,390千円		
合計						24,640千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						24,640千円	
合計						24,640千円		
人工数 人件費	0.00人		0.25人	1,609千円				
総経費				1,609千円		24,640千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	都市計画総括図の更新			更新	
				更新	
				100.00%	
2	都市計画基本図の更新			更新	
				更新	
				100.00%	
3					

成果	平成18年以降、18年ぶりに基本図を更新した。平成29年以降、7年ぶりに総括図を更新した。基本図、総括図共に最新の情報に更新することで、より迅速で正確な事務処理が実現する。コスト面の課題から長期に渡り未更新であった基本図の更新は、衛星画像データを利用した日本初の公共測量として実施し、コストメリットも実証しつつ、日本初の事例を実現させた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	基本図の更新はおおむね5年毎が望ましいとされており、当面は当事務事業による事業実施はない。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	-
特記事項	今回の経験やデータなどを活かし、次回の更新業務に向けて、更には日本全国の基盤図のタイムリーな更新に向けて、引き続き実証事業に協力できることがあれば積極的に貢献していきたい。					

R5年度 事務事業評価シート

181

課・局・室・所(係)

都市計画課

計画係

事務事業番号

220010403

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	20	適正な土地利用の推進	1	適正な土地利用の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	都市計画図管理事業	3	ドローン活用事業				政策的
	ドローンを使用し、都市公園、文化財などの観光素材や祭りなどのイベント状況、公共施設(庁舎、学校、文化会館、オートレース場等)などを撮影し、ホームページや観光パンフレット等に掲載して市をPRする。また、防災への活用として災害状況の撮影を行う。操作者の講習は、平成31年度の後には3年に1度とする。毎年の保険と保守を必要とする。				対象	市の情報		
					手段	ドローンによる撮影		
					意図	市の魅力ある情報を発信する。		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)				
支出内訳	修繕料			修繕料			修繕料	39千円	保険料	104千円
	保険料	66千円		保険料	66千円		手数料	12千円	修繕料	50千円
				手数料	1千円		保険料	65千円		
							備品購入費	100千円		
	合計		66千円		67千円			216千円		154千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		66千円		67千円			216千円		154千円
合計		66千円		67千円			216千円		154千円	
人工数	0.10人			0.05人						
人件費		578千円		287千円						
総経費		644千円		354千円				216千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	撮影回数	活動	20	16	18	
2						
3						

成果	文化財や記念イベントなどの市の魅力発信に寄与する撮影をはじめ、災害箇所の撮影やインフラの点検等にも利用した。空撮による分かりやすさや伝わる情報量の多さなど、優位性のある場面において幅広く利用することができ、意図にある魅力発信に留まることのない有効利用をすることができている。新規機体を購入し、一般的に推奨される2台体制となった。					
R7年度に向けた課題及び改善策	引き続き、全庁的に広く多様な用途の撮影に利用していく。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	R6.5.24 理科大よりドローン3機寄附採納。利用頻度の高い課への備え置き等、更なる利活用を検討する。					

R5年度 事務事業評価シート

182 課・局・室・所(係) 都市計画課 計画係 事務事業番号 220010501

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	20	適正な土地利用の推進	1	適正な土地利用の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
5	都市計画見直し事業	1	都市計画道路見直し事業				政策的	
事業概要	都市計画道路のうち計画決定から30年以上経過した路線等について、山口県から示された「都市計画道路の見直し基本方針」に基づき、各路線の必要性等を検討し、廃止を含めた道路計画の見直しを行う。 補正理由:山陽小野田市都市計画道路見直し調査業務委託の入札の結果による減額の補正である。				対象	都市計画決定された道路		
					手段	関係機関や市民との合意形成を図る		
					意図	都市計画道路を見直し、計画的な道路網の整備を図る		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)				
支出内訳						調査委託料		15,000千円		
						(3月補正分)		-4,220千円		
合計								10,780千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金					街路交通調査費補助		3,500千円		
	県支出金									
	地方債									
	その他					まちづくり魅力基金		7,280千円		
	一般財源							千円		
合計								10,780千円		
人工数 人件費	0.05人	289千円		0.00人		千円				
総経費		289千円						10,780千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	説明会回数	活動			2	
					0	
					0.00%	
2	計画変更路線数	活動			15	
					25	
					100.00%	
3						

成果	山陽小野田市都市計画道路見直し方針調査業務委託を実施し、庁内検討委員会や関係機関との協議などを経て、見直し方針(案)を作成した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和6年度は、パブコメを行い、見直し方針を策定し、複数年にかけて段階的に都市計画の変更を実施する予定としている。今後の立地適正化計画の策定や都市計画マスタープランの改訂といった上位計画の動向に応じて、見直し方針の継続的な検討を行うこととしている。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	縮小	③
特記事項	令和6年度以降はゼロ予算となる。					

R5年度 事務事業評価シート

183 課・局・室・所(係) 都市計画課 計画係 事務事業番号 220020201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	20	適正な土地利用の推進	2	市街地の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	コンパクトなまちづくりモデル事業	1	山陽小野田市厚狭駅南部地区定住奨励金事業				政策的	
事業概要	「厚狭駅南部地区まちづくり基本計画」に基づき、厚狭駅南部地区のモデル地区において定住を促進し地域の活性化を推進するため、モデル地区内に定住する意思をもって住宅を取得し居住した者に対し奨励金を交付する。交付期間は令和7年度末までの5年間としている。				対象	モデル地区内に定住する意思をもって住宅を取得し居住した者		
					手段	奨励金の交付		
					意図	モデル地区における定住促進と地域の活性化を図る		

事業期間	R3	年度	～	R7	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
支出内訳	厚狭駅南部地区定住奨励金	400千円	厚狭駅南部地区定住奨励金	600千円	厚狭駅南部地区定住奨励金	600千円	厚狭駅南部地区定住奨励金	1,000千円		
	合計	400千円	600千円	600千円	1,000千円					
	国庫支出金									
	県支出金									
財源内訳 / 割合	地方債									
	その他			まちづくり魅力基金	600千円	まちづくり魅力基金	1,000千円			
	一般財源	400千円	600千円							
	合計	400千円	600千円	600千円	1,000千円					
人工数 人件費	0.10人	578千円	0.01人	57千円						
総経費	978千円	657千円	600千円							

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	定住奨励金の交付数	活動	5	5	5
			2	3	3
			40.00%	60.00%	60.00%
2					
3					

成果	3件の申請に対して交付決定を行った。定住促進と地域の活性化に寄与した。				
R7年度に向けた課題及び改善策	令和7年度は当制度の最終年度となるため、制度延長等の今後の方針について検討する必要がある。				
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	土地利用、居住人口ともに横ばいである。 土地利用:R5 51.2% → R6 51.97% 居住人口:R5 528人 → R6 527人				